

# 「ダ・ヴィンチ・コード」 を読み解く

— キリスト教思想・聖書学・考古学の視点から —

●日 時 2006年6月10日(土) 10~12時

●場 所 同志社大学 今出川校地 神学館礼拝堂

●講 師 小原 克博(同志社大学神学部教授)  
越後屋 朗(同志社大学神学部教授)

●プログラム

司 会：三宅 威仁(同志社大学神学部助教授)

[あいさつ] 原 誠(同志社大学神学部長)

[講 演] 小原 克博「キリスト教思想の視点から」  
越後屋 朗「聖書学・考古学の視点から」

[コメント] 青木 保憲(京都中央チャペル牧師)

[質疑応答]

●入場無料、事前申込不要

●お問い合わせ 神学部・神学研究科事務室(075-251-3330)

## 「ダ・ヴィンチ・コード」を読み解く

### キリスト教思想の視点から

同志社大学 神学部 小原 克博

<http://www.kohara.ac>

## 概 要

- 「ダ・ヴィンチ・コード」騒動から見える世界
  - 「象徴」について／各地で起こった批判や騒動／論争の焦点
- 日本人には理解しにくい宗教的背景
  - マグダラのマリア／イエスの人性と神性
- 共振する救済のスタイル
  - 人気の秘密／グノーシス主義とは何か／グノーシス主義の背景／肉体性と女性性の復権
- ブームの背景と今後の課題
  - 現代のイエス・ブーム／「ダ・ヴィンチ・コード」論争が象徴する今後

2

## 「ダ・ヴィンチ・コード」騒動から見える世界

## 「象徴」について

- ロバート・ラングドン
  - ハーバード大学の「**宗教象徴学者**」という設定
- 「象徴」を読み解く
  - 絵画は象徴の宝庫。
  - 例：鍵→ペトロ、若々しい(女性的)使徒→イエスの愛弟子ヨハネ(ヨハネ13:23他)
  - 「ダ・ヴィンチ・コード」の中で、ソフィーは「**エバ**」をティーピングは「**蛇**」を象徴している。
- 「象徴」は、多義的かつ両義的
  - 蛇→悪魔の象徴、知恵の象徴

4

## 各地で起こった批判や騒動

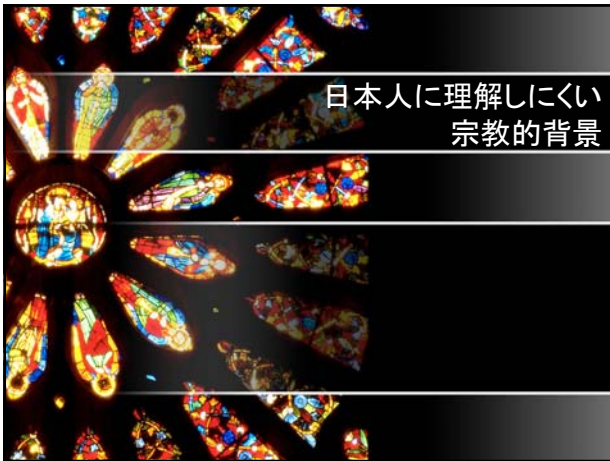
- ヴァチカン(ローマ・カトリック教会)
  - この小説は教会の歴史を著しく歪めていると批判した。
- オプス・デイ
  - 映画上映を目前にして、「この映画は**フィクション**です」という但し書きを付けるよう、製作会社のソニー・ピクチャーズ・エンターテインメントに要求した。これに対し、監督のロン・ハワードは「この作品はスパイ・スリラーで但し書きは不要」と反論した。
- プロテスタント福音派グループ
  - 「ダ・ヴィンチ・コード」は現代の「**グノーシス主義**」であると批判し、映画のボイコット運動を展開している組織もある。
- イスラーム関係
  - パキスタンなどで、イスラーム団体・政党が映画の上映反対運動を展開。

5

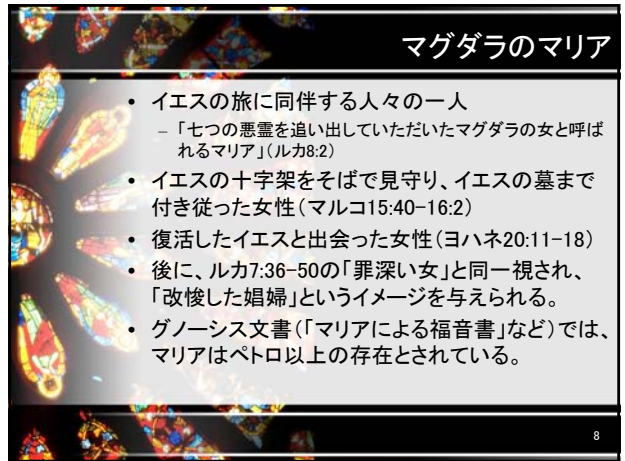
## 論争の焦点

- イエスの神聖性に対する冒瀆
  - イエスの婚姻関係・子孫
- 事実誤認
  - 小説冒頭の言葉「この小説における芸術作品、建築物、文書、秘密儀式に関する記述は、**すべて事実に基づいている**」が火種に。
  - 批判本の特徴：細かな事項についての批判。これほど多くの間違いを犯す人物の主張を信じることはできない、という論理展開。
- グノーシス主義、ニューエイジ

6



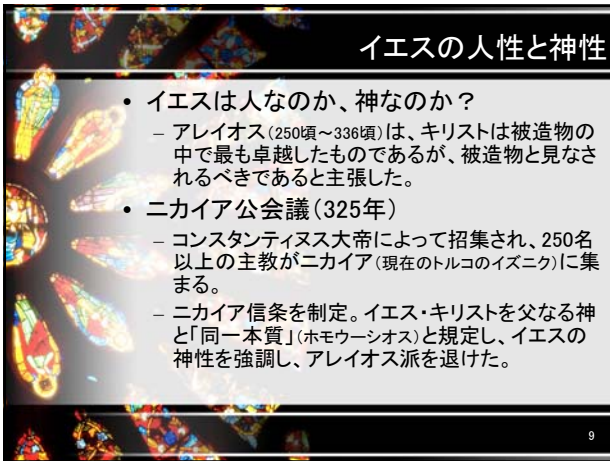
## 日本人に理解しにくい 宗教的背景



## マグダラのマリア

- イエスの旅に同伴する人々の一人
  - 「七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア」(ルカ8:2)
- イエスの十字架をそばで見守り、イエスの墓まで付き従った女性(マルコ15:40-16:2)
- 復活したイエスと出会った女性(ヨハネ20:11-18)
- 後に、ルカ7:36-50の「罪深い女」と同一視され、「改悛した娼婦」というイメージを与えられる。
- グノーシス文書(「マリアによる福音書」など)では、マリアはペトロ以上の存在とされている。

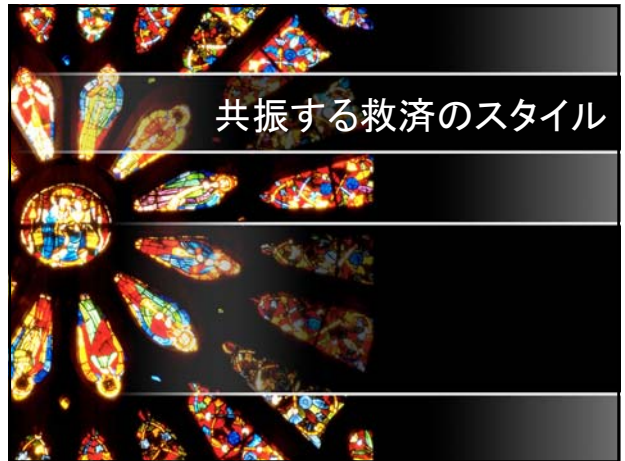
8



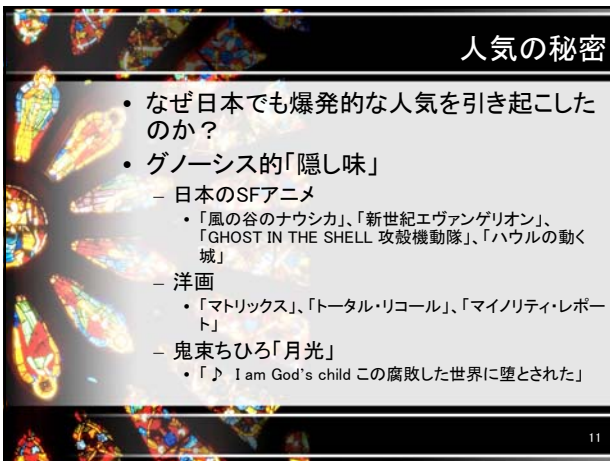
## イエスの人性と神性

- イエスは人なのか、神なのか？
  - アレイオス(250頃~336頃)は、キリストは被造物の中で最も卓越したものであるが、被造物と見なされるべきであると主張した。
- ニカイア公会議(325年)
  - コンスタンティヌス大帝によって招集され、250名以上の主教がニカイア(現在のトルコのイズニク)に集まる。
  - ニカイア信条を制定。イエス・キリストを父なる神と「同一本質」(ホモウーシオス)と規定し、イエスの神性を強調し、アレイオス派を退けた。

9



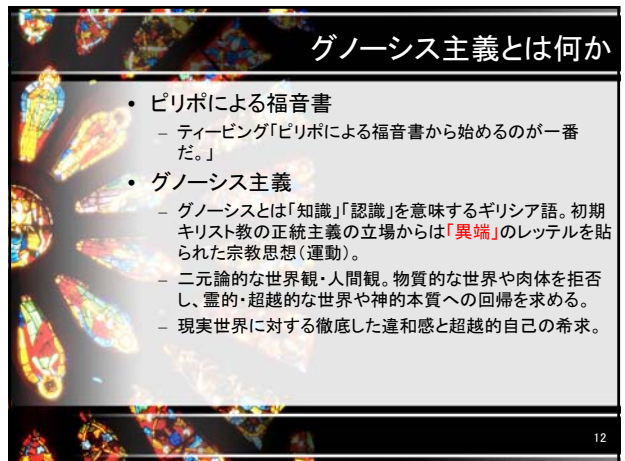
## 共振する救済のスタイル



## 人気の秘密

- なぜ日本でも爆発的な人気を引き起こしたのか？
- グノーシスの「隠し味」
  - 日本のSFアニメ
    - 「風の谷のナウシカ」、「新世紀エヴァンゲリオン」、「GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊」、「ハウルの動く城」
  - 洋画
    - 「マトリックス」、「トータル・リコール」、「マイノリティ・レポート」
  - 鬼束ちひろ「月光」
    - 「♪ I am God's child この腐敗した世界に墮とされた」

11




## グノーシス主義とは何か

- ビリボによる福音書
  - ティーピング「ビリボによる福音書から始めるのが一番だ。」
- グノーシス主義
  - グノーシスとは「知識」「認識」を意味するギリシア語。初期キリスト教の正統主義の立場からは「異端」のレッテルを貼られた宗教思想(運動)。
  - 二元論的な世界観・人間観。物質的な世界や肉体を拒否し、霊的・超越的な世界や神の本質への回帰を求める。
  - 現実世界に対する徹底した違和感と超越的自己の希求。


12

## グノーシス主義の背景



聖書の  
創造信仰

グノーシス主義



ウイトルウィウスの人体図

ギリシア哲学  
(ストア派)の自然観

13

## 肉体性と女性性の復権

グノーシス的素材  
(ピリポ福音書など)  
の利用

反グノーシス的結論

- **肉体性**: イエスの血筋
- **女性性**: マグダラのマリアに  
象徴される女神崇拜  
の復権

フェミニスト神学との関係

聖母マリアとマグダラのマリア

14


## ブームの背景と今後の課題



15

## 現代のイエス・ブーム

- イエス研究の新たな展開 (1990年代以降)
  - 従来の文献学的研究にとどまらない、人類学や考古学の新たな知見を加えた総合的なイエス研究
- 斬新なイエス理解を求める「市場」の誕生



右の図: 英BBC放送が、1世紀のユダヤ人男性の頭骨を元にして、イエスのイメージをコンピュータによって再現した絵

16

## 「ダ・ヴィンチ・コード」騒動が象徴する今後

- ムハンマド風刺画問題との連続性
  - オブス・デイの謝罪事件
    - オブス・デイの機関誌『スチューディ・カットリチ』(カトリック研究) 3月号が、ダンテの『神曲』に描かれている預言者ムハンマド(地獄にいる人物として描かれている)の漫画を掲載して、ムスリム団体から批判された。
- 宗教的価値と世俗的価値の新たな対立?
  - 政教分離原則によって解決済みの問題であるはず...
  - しかし、両者の関係は、再定義されることを求めているのではないか。
  - 宗教的情操(感性)の涵養ではなく、宗教知識教育が必要。

17



「ダ・ヴィンチ・コード」を読み解く

聖書学・考古学の視点から

「ダ・ヴィンチ・コード」から  
「福音書」へ

同志社大学神学部  
越後屋 朗



ダン・ブラウン

『ダ・ヴィンチ・コード 下』

第58章

(16-17頁)

「いや」ティーピングは、本が積み重なったかたわらのテーブルへ歩み寄せた。「すでに話したように、イエスとマグダラのマリアの結婚は史実として記録されている」本の山を掻き分けはじめる。「それに、イエスを既婚の男性とするほうが、聖書に従って独身だったとする通説よりもはるかに理にかなっている」

「どうして？」ソフィーは尋ねた。

「イエスがユダヤ人だったからだよ」本を探すティーピングにかわってラングドンが言った。「当時の社会秩序は、男性が結婚しないことを事実上禁じていたんだ。ユダヤ人の慣習では、独身は非難され、息子にふさわしい嫁を見つけるのが父親の義務だった。もしイエスが結婚しなかったのなら、福音書のどれかがそれに言及し、独身という不自然な状態を通した理由についてなんらかの説明をしているはずだ。ところがそんな記述はどこにもない」

ティーピングはとてつもなく大きな本を見つけ出して、自分のほうへ引き寄せた。ポスター並みの大きさの革装本で、巨大な地図帳を思わせる。表紙には『グノーシス主義福音書』と書かれている。それをティーピングがひるげ、ラングドンとソフィーものぞきこんだ。古文書の拡大写真らしきものが載っており、傷みの激しいパピルスに手書きの文字が並んでいる。ソフィーにはその古代言語が理解できなかったが、見開きの反対側のページに、活字で記された翻訳文が見てとれた。

「さっき話したナグ・ハマディ文書と死海文書の写真だ」ティーピングは言った。「キリスト教の最古の記録だよ。厄介にも、聖書の福音書の内容と一致していない」中ほどを開いて、一節を指で示した。「ピリポによる福音書からはじめるのがいちばんだ」

ソフィーは読んだ。

そして主の連れはマグダラのマリアである。キリストはどの弟子よりも彼女を愛し、しばしば唇に接吻した。ほかの弟子たちはこれに苛立ち、非難の意をあらわにした。弟子たちは言った。「なぜわたしたちよりも彼女を愛するのですか」

ソフィーは内容に驚きつつも、決定的な証拠とは言えないと思った。「結婚していたとは書かれていないわ」

「とんでもない」ティーピングは笑顔で最初の行を指さした。「アラム語学者ならだれでも知っているが、“連れ”ということばは、当時はまさしく配偶者を意味している」


ラングドンはうなずいて同意を示した。



ダン・ブラウンの主張

4正典福音書(マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ)は最も古い福音書ではない。


最も古い福音書はグノーシス主義福音書である(特に、ピリポ福音書とマリア福音書)。



## 34の福音書(1-2世紀)

---


Robert J. Miller (ed.), *The Complete Gospels*  
(Sonoma: Plebridge Press, 1994).



## 4正典福音書(新約聖書)

---


Gospel of Mark(マルコ)(70年頃)  
Gospel of Matthew(マタイ)(80年頃)  
Gospel of Luke(ルカ)(90年頃)  
Gospel of John(ヨハネ)(95年頃)



## 4正典外福音書(完全)

---


Infancy Gospel of James(2世紀中期)  
Secret Book of James(100-150年)  
Gospel of Thomas(トマス)(70-140年頃)  
Infancy Gospel of Thomas(2世紀)



## 7正典外福音書(断片)

---


Egerton Gospel(50-100年)  
Gospel of Mary(マリア)(1世紀末期/2世紀初期)  
Gospel Oxyrhynchus 840(1世紀末期/2世紀初期?)  
Gospel Oxyrhynchus 1224(50年頃?)  
Gospel of Peter(1世紀中期)  
Dialogue of the Savior(150年頃)  
Gospel of the Savior(2世紀末期)



## 4正典外福音書(引用から)

---

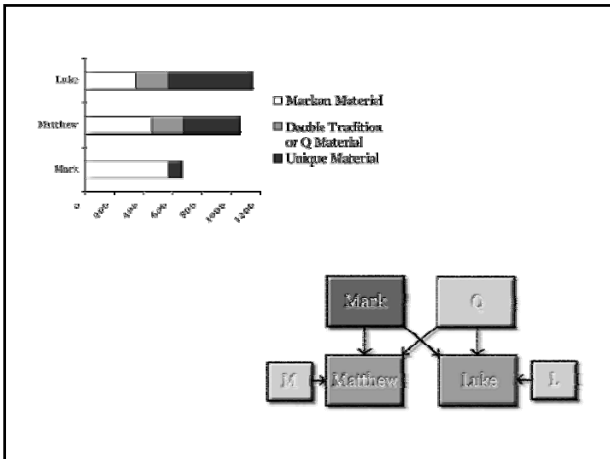
Secret Gospel of Mark(2世紀)  
Gospel of the Ebionites(2世紀中期)  
Gospel of the Hebrews(2世紀初期)  
Gospel of the Nazoreans(100-150年)



## 2正典外福音書(推測上)

---

Q(50年頃)  
Signs Gospel(90年よりも前)



### 13正典外福音書(名前のみ)

- Gospel of the Four Heavenly Regions
- Gospel of Perfection
- Gospel of the Twelve
- Gospel of Judas*
- Gospel of Bartholomew
- Gospel of Cerinthus
- Gospel of Marcion
- Gospel of Bardesanes
- Matthew's logia collection
- Gospel of Eve
- Gospel of Matthias
- Gospel of Basilides
- Gospel of Apelles



### ユダの福音書



本日の講演内容は後日、「**神学部オープンコース**」の一つとしてインターネット上で公開される予定です。開始については、神学部 HP にて案内いたします。

同志社大学 神学部・神学研究科 HP <http://theology.doshisha.ac.jp>